

令和9年度

島根大学総合理工学部編入学
学 生 募 集 要 項

〔 一 般 入 試 〕
〔 推 薦 入 試 〕

(3年次入学)



人とともに 地域とともに

島根大学

SHIMANE UNIVERSITY

目 次

1	募集学科及び募集人員	1
2	出願資格	1
	(1) 一般入試	1
	(2) 推薦入試	1
3	出願手続	2
4	入試方法及び日程	3
	(1) 一般入試	3
	(2) 推薦入試	3
5	配点	3
	(1) 一般入試	3
	(2) 推薦入試	3
6	学力試験等の内容及び採点・評価の基準	4
	(1) 一般入試	4
	(2) 推薦入試	4
7	合否判定の基準	4
	(1) 一般入試	4
	(2) 推薦入試	5
8	試験場	5
9	入学検定料の返還	5
10	注意事項	5
11	合格者の発表	5
12	障がい等のある入学志願者との事前相談	6
13	入学手続等	6
14	授業料	6
15	入試に関する情報提供	6
16	編入学入試実施状況	7
17	個人情報の取扱い	8
18	編入学の時期及び単位認定等	8
19	学生支援制度	8

学 部 案 内

1	学部の内容	10
2	総合理工学部の卒業要件	13

不測の事態等が発生した場合の対応について

大規模災害等の不測の事態により、学生募集要項等で公表した入学者選抜試験の方法による実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験日時、選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を以下のホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

島根大学入試情報ホームページ

<https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

1 募集学科及び募集人員

学 科	分 野	募 集 人 員	
		一般入試	推薦入試
総合理工学科	先端ものづくり分野	(5)	(若干名)
	数理データサイエンス・IT・デジタル分野	(5)	(若干名)
	自然環境・住環境分野	(2)	(若干名)
計		12	

- 1 募集人員は、一般入試と推薦入試を合わせて12名です。
- 2 学科、各分野の詳細については、「学部案内」(10~12ページ)を参照してください。また、後述の出願書類に記入する「標準履修モデル」についても併せて確認してください。

2 出 願 資 格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- ③ 高等専門学校を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- ④ 修業年限4年以上の大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者及び令和9年3月31日までに2年以上在学となり、62単位以上修得見込みの者。
(ただし在学期間に休学期間は含めないものとする)
- ⑤ 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者(学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- ⑥ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者(学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- ⑦ 外国において、学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者で、前記①, ②, ③の各号のいずれかに相当すると認められるもの

【注意事項】

- 1 出願資格⑦により出願を希望する者については、令和8年7月10日(金)までに松江地区学部等事務部学務課(総合理工学部入試担当)に照会してください。

(2) 推薦入試

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等専門学校を令和9年3月31日までに卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身学校長が人物及び学力ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者
- ② 短期大学を令和9年3月31日までに卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身短期大学長が人物及び学力ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者
- ③ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを令和9年3月31日までに修了見込みの者(学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)で、在学中の成績が上位に属し、出身学校長が人物及び学力ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者
- ④ 高等専門学校、短期大学若しくは大学を卒業した者又は高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者で、企業等に在職する社会人のうち職場の所属長が、人物及び勤務成績ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者

3 出 願 手 続

- ① 出願期間
令和8年7月27日(月)から7月31日(金)午後5時まで。
- ② 出願方法

志願者は、次の③の書類をとりそろえて出願期間内に「書留・速達」郵便により提出してください。出願期間内に必着としますが、これ以降に到着したものについては、7月30日(木)までの消印のあるものに限り受理します。

なお、郵送する場合には、封筒に「総合理工学部編入学願書在中」と朱書きしてください。

出願書類の持参は、出願期間の最終日7月31日(金)のみ9時から17時まで学務課(学生センター4番窓口)にて受け付けます。

③ 出願書類

入 学 志 願 票 写 真 票 ・ 受 験 票	本学所定の様式を使用し、写真2枚(入学志願票:1枚,写真票:1枚)を貼付したもの。本要項の「総合理工学部及び総合理工学科の概要」を参考に、希望する分野及び標準履修モデルを明記すること。
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	最終学校等の長が発行した卒業(修了)証明書又は在籍する学校等の長が発行する卒業(修了)見込証明書 ただし、 出願資格(1)一般入試の④で出願する者は、在学又は在籍期間証明書(休学期間がある場合は、その期間が明記してあるもの。様式随意) 出願資格(1)一般入試の⑤で出願する者は、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了又は修了見込みであることが分かる証明書 出願資格(1)一般入試の⑥又は出願資格(2)推薦入試の③若しくは④で出願する者は、本学所定の様式を使用し、学校長が発行する証明書
成 績 証 明 書	最終出身学校又は現に在籍する学校等の長が作成した成績証明書で厳封したもの。 ただし、出願資格(1)一般入試の④で出願する者のうち、62単位修得見込みの者は、修得見込みの科目及び単位数(様式随意)が分かる証明書等を添付すること。
推 薦 書 (推 薦 入 試 の み)	本学所定の様式を使用し、推薦する学校等の長が作成し、厳封したもの。
出 願 承 諾 書 (推 薦 入 試 の み)	本学所定の様式による出願承諾書 出願資格(2)推薦入試の④で出願する者のみ
入 学 検 定 料 振 込 金 証 明 書	入学検定料 30,000 円 (※災害等による入学検定料免除の特例措置を希望される方は、7月27日(月)までに申請する必要があります。本学ホームページ(https://www.shimane-u.ac.jp)の「入試情報」→「学部入試」→「入学検定料免除について」をご確認ください。) 本学所定の振込依頼書等用紙の留意事項に沿って、金融機関窓口で所定の取扱期間中に同用紙により振り込んでください。振込手続後、窓口で返却された「Ⅲ票 振込金証明書(島根大学提出用)」を同封してください。 なお、特例措置により検定料免除を許可された場合は不要です。 ※検定料の返還については、5ページを参照してください。
返 信 用 封 筒	受験票等を送付する際に使用しますので、長形3号(12cm×23.5cm)の封筒に志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し110円分の切手を貼付したもの
あ て 名 票	合格通知書及び入学手続書類等を送付する際に使用しますので、すべてに住所、氏名及び郵便番号を記入してください。

④ 提 出 先

〒690-8504 松江市西川津町1060

島根大学松江地区学部等事務部学務課 総合理工学部入試担当 電話(0852)32-6042

4 入試方法及び日程

(1) 一般入試

① 入試方法

一般入試は、成績証明書及びその他の書類、口頭試問並びに面接により総合的に判断します。

② 学力試験等の内容・日程

口頭試問、面接は次のとおりの内容及び日程により行います

分 野	令和8年9月4日(金)	
先端ものづくり分野	受付 8:20~8:40 試験 9:00~	口頭試問・面接
数理データサイエンス・IT・デジタル分野		口頭試問・面接
自然環境・住環境分野		口頭試問・面接

(2) 推薦入試

① 入試方法

推薦入試は、成績証明書及びその他の書類並びに面接により総合的に判断します。

② 日程

分 野	令和8年9月4日(金)	
先端ものづくり分野	受付 8:20~8:40 試験 9:00~	面接
数理データサイエンス・IT・デジタル分野		
自然環境・住環境分野		

5 配 点

(1) 一般入試

分 野	口頭試問	面接	書類審査	合計
先端ものづくり分野	30	20	50	100
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	30	20	50	100
自然環境・住環境分野	30	20	50	100

(2) 推薦入試

分 野	面 接	書類審査	合 計
先端ものづくり分野	30	70	100
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	30	70	100
自然環境・住環境分野	30	70	100

6 学力試験等の内容及び採点・評価の基準

(1) 一般入試

分野	科目等	学力試験等の内容及び採点・評価の基準
先端ものづくり分野	口頭試問・面接	各志願者に対して、これまで学習してきた内容について、複数名の面接委員で 20 分程度の口頭試問及び面接を行います。大学 1・2 年程度の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	口頭試問・面接	各志願者に対して、これまで学習してきた内容について、複数名の面接委員で 20 分程度の口頭試問及び面接を行います。大学 1・2 年程度の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
自然環境・住環境分野	口頭試問・面接	各志願者に対して、これまで学習してきた内容について、複数名の面接委員で 20 分程度の口頭試問及び面接を行います。大学 1・2 年程度の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。

(2) 推薦入試

分野	科目等	面接等の内容及び採点・評価の基準
先端ものづくり分野	面接	各志願者に対して、複数名の面接委員で 15 分程度の面接を行います。専門分野の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	面接	各志願者に対して、複数名の面接委員で 15 分程度の面接を行います。専門分野の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
自然環境・住環境分野	面接	各志願者に対して、複数名の面接委員で 15 分程度の面接を行います。専門分野の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。

7 合否判定の基準

(1) 一般入試

分野	合否判定の基準
先端ものづくり分野	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	
自然環境・住環境分野	

(2) 推薦入試

分 野	合 否 判 定 の 基 準
先端ものづくり分野	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	
自然環境・住環境分野	

8 試験場

島根大学総合理工学部（松江市西川津町 1060）
巻末の「松江キャンパス案内図」を参照してください。

9 入学検定料の返還

納入された入学検定料は、以下の①～③の場合を除き、いかなる理由があっても返還することができません。

- ① 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合
該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。
- ② 入学検定料を振り込み後、島根大学に出願しなかった場合
- ③ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

上記②又は③に該当した場合は、令和8年8月21日（金）までに財務部経理・調達課出納担当（TEL0852-32-6029）へ連絡（土曜日、日曜日、祝日及び8月13日（木）～8月14日（金）を除く午前9時から午後5時までの間）してください。なお、返還の手続を行う際に「Ⅱ票 振込金受取書（志願者保管）」及び「Ⅲ票 振込金証明書（島根大学提出用）」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。この用紙がないと振込事実の確認ができず、返還できないことがあります。

10 注 意 事 項

- (1) 受験者は、試験当日必ず受験票を持参してください。
- (2) 以下のいずれかに該当する場合、入学許可を取り消します。（入学料は返還しません。）
 - ア 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合
 - イ 「卒業（修了）見込み」又は「修業年限4年以上の大学に2年以上在学（休学期間を除く）し、62単位以上修得見込み」で出願した者が、令和9年3月31日までに要件を満たさなかった場合

11 合格者の発表

- (1) 合格者の発表は、次のとおり行います。

入試区分	日 時
一般入試 推薦入試	令和8年9月18日（金） 午前11時

島根大学ホームページの入試情報に合格者の受験番号を掲載します。

URL <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

- (2) 合格者には、合格通知書を送付します。

- (3) 欠員補充方法

入学者が入学定員に満たなかった場合には、合格者を追加することや第2次募集をすることがあります。

【注意事項】

電話、メール等による合否に関する問い合わせには、一切応じません。

12 障がい等のある入学志願者との事前相談

本学部に入学を志願する者で、障がい等（視覚障がい、聴覚・言語障がい、肢体不自由、病弱・虚弱、重複障がい、発達障がい、精神障がい、その他の障がい等）があり、受験上及び修学上配慮を必要とする場合は、以下により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合は、本学での検討及び準備に要する期間が必要なため、事前相談の期限までにご連絡ください。

なお、上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合も、以下に準じて相談先までお知らせください。

(1) 相談の方法

本学所定の様式に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し、「(2) 事前相談の期限」までに「(3) 相談先」へ提出してください。本学が必要と認めた場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

(2) 事前相談の期限

本学からの回答書の送付までに3週間程度かかりますので、7月3日（金）までに相談してください。

(3) 相談先

島根大学松江地区学部等事務部学務課（総合理工学部入試担当）

〒690-8504 松江市西川津町 1060

電話 (0852) 32-6042

13 入学手続等

(1) 入学確約書の提出

合格者は令和8年10月2日（金）までに、「入学確約書」を松江地区学部等事務部学務課（総合理工学部入試担当）へ提出してください。なお、期日までに入学確約書の提出がない場合は、入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなします。

(2) 入学手続

入学確約書を提出した者には、入学手続に関する「入学案内」を12月上旬に送付しますので、定められた期間内に入学手続を行ってください。

①手続期間

令和8年12月14日（月）～12月18日（金）

②必要経費

入学金 282,000円（予定額）

【注】入学手続時までに入学金の改定が行われた場合には、新たな入学金が適用されます。

14 授業料

(1) 授業料の額（前期分）267,900円（後期分）267,900円 [年額 535,800円]

【注】入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

(2) 授業料の支払方法

授業料の支払いは、預貯金口座からの「口座振替」を原則としています。

15 入試に関する情報提供

令和9年度入試については、次のとおり公表します。

(1) 合格者成績情報

募集単位ごとに合格者の最高点、最低点及び平均点を本学のホームページにより、令和9年4月中に公表します。ただし、募集人員又は合格者が10人程度の場合など、公表すると個人が特定できるような

場合は公表しません。

(2) 申請により本人に提供する情報

受験者のうちで、試験成績の提供を希望する者には、本人からの申請により科目ごとの得点及び総合順位（ランク区分）を通知します。

○申請時必要書類

1 入試情報提供申請書

島根大学ホームページからダウンロードしてください。

2 島根大学受験票

受験票は正本のみとし、写しは不可です。なお、提供通知の際に返却します。

3 返信用封筒（長形3号 [12cm×23.5cm]）

封筒には、必ず申請者本人の住所、氏名を明記し、簡易書留分の切手（460円）を貼ってください。

※郵便料金は変更になることがあります。

○注意事項

1 申請は、郵送のみとします。

2 申請期間は、令和9年5月1日から5月31日17時必着とします。ただし、土曜、日曜及び祝日を除きます。

3 申請書の記入は、必ず本人が自書してください。

4 入試情報提供の通知は、郵送により行います。

なお、通知書の発送は、申請書の提出後1ヶ月程度を要します。

5 総合順位のランク区分は、上位から10名単位を1ランクとして表記します。

(3) 問合せ先

教育・学生支援部 入試課 TEL：(0852) 32-6073 FAX：(0852) 32-9726

E-mail：epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

16 編入学入試実施状況

(1) 令和8年度 一般入試（参考：学部学科改組前の状況を示す）

学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
物理工学科	12	2	2	1	1
物質化学科		3	3	2	2
地球科学科		1	1	1	1
数理科学科		2	2	1	0
知能情報デザイン学科		6	3	0	0
機械・電気電子工学科		25	21	6	4
建築デザイン学科		13	13	1	1
計	12	52	45	12	9

(2) 令和8年度 推薦入試 (参考: 学部学科改組前の状況を示す)

学科・系	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理工工学科	若干名				
物質化学科		1	1	1	1
地球科学科					
数理科学科					
知能情報デザイン学科		8	8	4	4
機械・電気電子工学科					
建築デザイン学科		9	9	4	4
計	若干名	18	18	9	9

※ 理工工学科, 地球科学科, 数理科学科及び機械・電気電子工学科は, 推薦入試による募集を行っておりません。

17 個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報について, 次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報(氏名, 生年月日, 性別その他の個人情報等)は, 入学者選抜, 合格通知, 入学確約書を提出した合格者への入学前連絡及び入学手続を行うために利用します。

また, 同個人情報は, 合格者の入学後の教務関係(学籍管理, 修学指導, 教育課程の改善等), 学生支援関係(健康管理, 授業料免除, 奨学金申請, 就職支援等), 授業料徴収等に関する業務及び調査・研究(入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等)を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

なお, 取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は, 本学の個人情報取扱規則等に従い, 適切に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては下記のURLを参照してください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

18 編入学の時期及び単位認定等

(1) 編入学の時期 令和9年4月

(2) 第3年次に編入学した者の修業年限は2年で, 在学できる年限は4年となります。

(3) 入学前に修得した単位の認定

第3年次に編入学した者が入学前に修得した単位は, 授業内容を審査し, 本学部の授業科目と同等と認めるものについて, 個別に認定します。また, 一部科目については, 卒業に必要な単位を修得したものと一括認定します。詳細については, 入学確約書を提出した者に対して, 別途通知します。

なお, 単位の認定状況によっては, 第3年次に編入学しても, 2年間で卒業できないこともあります。

19 学生支援制度

(1) 入学料減免, 授業料減免制度について

大学等における修学の支援に関する法律に基づき, 高等教育の修学支援新制度により, 日本学生支援機構の給付奨学金及び入学料減免, 授業料減免を受けることができます。

① 編入学前の大学等において本制度の支援を受けている方

引き続き本制度の支援を受けるためには, 入学後に給付奨学金の継続手続及び入学料減免, 授業料減免申請を行う必要があります。ただし, 入学料減免については本制度による入学料減免を受けたことがない方に限ります。

- ② 編入学前の大学等において本制度の支援を受けていない方
入学後に給付奨学金及び入学料減免、授業料減免申請が可能です。本制度の詳細は以下のホームページでご確認下さい。

制度の詳細（文部科学省 HP）

<https://www.mext.go.jp/kyufu/>

給付奨学金シミュレーション（日本学生支援機構 HP。制度の対象になるか大まかに調べることができます。）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>

(2) 入学料徴収猶予制度について

次のいずれかに該当する方については、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により支払期限までに入学料の支払いが困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
- ② 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、支払期限までに入学料の支払いが困難であると認められる方

(3) 授業料等奨学融資制度について

学生が、本学の提携銀行である山陰合同銀行から、当該期の授業料相当額及び入学料相当額の融資を受け（本学及び銀行の審査があります）、卒業後返済する制度で、授業料及び入学料の支払いに困らないよう学生への支援の一つとして設けたもので、制度の概要は次のとおりです。

【制度の概要】

- ① 在学中は、本学が奨学援助金として利息を負担し、銀行へ支払います。
- ② 授業料免除申請をしている方は授業料相当額の融資の申請はできません。ただし、免除結果が全額免除とならなかった場合は申請が可能です。
- ③ 入学料相当額の融資の申請は、入学料徴収猶予が許可された方に限ります。
- ④ 本申請の時期は、前期は7月上旬、後期は1月上旬を予定しています。
- ⑤ 日本学生支援機構等の奨学金利用者も申請できます。
- ⑥ 学生が山陰合同銀行と融資契約を締結します。

(4) 奨学金制度について

毎年、多くの学生が、日本学生支援機構、地方公共団体、民間の事業団体による育英制度の奨学金の貸与又は給付を受けています。

地方公共団体の奨学金は、都道府県市区町村の教育委員会、民間の団体等の奨学金は財団等で直接取り扱っているケースも多いので、各奨学金事業実施団体のホームページや日本学生支援機構ホームページの奨学金情報を確認してください。

(5) 学生教育研究災害傷害保険制度について

この保険は、インターンシップ・介護体験活動・教育実習等を含む学生の正課中、学校行事中・課外活動中及び学校施設内などでの教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を負った場合に保険金が支払われるものです。

また、同じく上記活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりしたことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われる学生教育研究賠償責任保険というものもあり、本学では両方への加入をお勧めしています。

(6) 住まいについて

学生生活に適したアパート・マンション等の斡旋を島根大学生生活協同組合が行っています。

(7) その他

(1)～(6)に関する詳細については、入学確約書を提出した者に対して送付する「入学案内」でお知らせします。

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

島根大学は、本学が掲げる大学憲章を踏まえ、次のような人を求めます。

《求める人材像》

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、豊かな人間性と高度な専門性を身につけ、世界的視野を持って平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成するため、次のような学生を国内外から求めます。

- ・ 大学での学びに必要な高等学校段階の基礎的学力を有し、自然、社会とその歴史、学術文化、人間などに対する知的好奇心と高い学修意欲を有する人
- ・ 地域社会や世界の諸課題について自らの関係において課題を発見し、必要な情報を収集しながら、論理的思考のもとで探究し続けようとする人
- ・ 価値観の異なる他者とも、協働や対話を通じて相互理解を図ろうとする人
- ・ 深く思考する過程を通じて自ら判断し、自分の意見や着想を分かりやすく表現しようとする人

学部案内

1 学部の内容

理 念

21世紀の知識基盤社会においては、新たな知の創出と知の活用による更なる科学技術の発展が求められています。総合理工学部は、理学、工学の教育・研究を基盤に、従来の枠組みを超えた分野間の有機的な連携を図り、新たな視点に立った理工融合型の教育・研究を推進します。これにより総合的視野をもった創造力豊かな人材の育成を目指すと共に、新たな科学技術の開拓を通して社会の持続的発展に寄与します。

目 標

1. 専門的基礎学力と総合的視野をもった活力ある人材の育成
 - ・ 理工学の専門的基礎教育を展開する中で、基礎力、応用力と共に理工融合的視点（理学的発見あるいは課題を工学的視点から捉え、工学的課題を理学的視点から捉えること）を育て、総合的視野をもった創造力豊かな人材を育成します。
 - ・ 変革する社会の中で自立して活動できる判断力、コミュニケーション能力、国際的視野をもった人材を育成します。
 - ・ 豊かな教養や倫理観をもち、人類社会や地球環境とのかかわりについて総合的に考え判断できる能力をもった人材を育成します。
2. 特色ある国際的水準の研究の推進
理工学の先端的・学際的研究、従来の枠組みを超えた連携による理工融合型研究、地域課題に立脚した研究など、特色ある研究を高度に推進し、教育に資します。
3. 国際交流の推進
研究成果の世界への発信、国際学術交流、国際共同研究、留学生の受入れ等を積極的に図り、国際的に魅力ある教育研究を推進します。
4. 地域をはじめとする社会貢献の推進
社会の中核となる有為な人材を社会に送り出すと共に、研究成果の社会への還元・普及を図ります。特に地域の活性化のために、地域社会との連携に努めます。
5. 効率的・効果的で透明性のある学部運営の推進
上記の目的を達成するために、効率的・効果的で活力ある学部運営を目指すと共に、積極的に情報を公開し、透明性のある学部運営を目指します。

本学部は、次に示す7学科からなります。また、大学院は自然科学研究科博士前期課程（標準修業年限2年、入学定員200名）及び自然科学研究科博士後期課程（標準修業年限3年、入学定員15名）として学生を受け入れています。

編入学者受入方針

- ・本学部の理念・目標に基づき、基礎となる理学、工学及び新たな視点による理工融合の専門分野の学修に熱意を持ち積極的に取り組める人を求めます。
- ・本学部で修得する学識と良識を基に、新たな科学技術の開拓、国際交流の推進、よりよい社会の実現に貢献する意欲を持つ人を求めます。
- ・上記の受入方針の下に、多様な入試を行い、多様な能力を持つ人を受け入れます。
- ・3年次編入学者の募集では、在籍する又は在籍した教育機関における学修内容を、本学部の理念・目標に従ってさらに発展・深化させたいという意欲を持つ人を求めます。また、志願する学科の入学受入方針に従い、編入学後の教育を受けるのにふさわしい専門分野の基礎学力を備えた人を受け入れます。

総合理工学部及び総合理工学科の概要

令和7年4月の入学生から、総合理工学部はそれまでの7学科体制を1学科・定員370人に統合しました。

複雑化する現代の社会や産業で求められる「融合知」を備えた「高度理工学系人材の育成」を目指し、理工学の深い専門知識を持ちながら、多くの人々と交流し、様々な知識を吸収し、自他ともに成長し続けることができる教育カリキュラムとしています。

学生は、幅広い総合理工学の専門科目から自由に選択して学ぶことができます。専門科目の学習が本格化する2年次以降の科目選択の目安として、

- ①半導体・蓄電池・メカトロニクスなどの「先端ものづくり分野」
 - ②次世代情報産業を担う「数理データサイエンス・IT・デジタル分野」
 - ③持続的社会的実現などの人類的課題に取り組む「自然環境・住環境分野」
- の3つの「分野」と14の「標準履修モデル」を用意しています。

①先端ものづくり分野における標準履修モデル

・電子物理工学人材養成履修モデル

物理学を基礎として、固体物性、半導体工学、電子工学などを幅広く学ぶことで、様々な問題に対して論理的にアプローチする能力を有し、先端エレクトロニクス人材、アナリストなどを中心に幅広く活躍できる人材を養成。

・半導体応用システム人材養成履修モデル

半導体工学、固体物理学、応用電子工学、回路理論、制御工学、デジタル・アナログ電子回路を広く学ぶことで半導体設計やマイクロプロセッサ設計、特にMCU(Microcontroller Unit)開発とそのシステム応用を担える人材を養成。

・機械電気人材養成履修モデル

機械工学、電気電子工学を中心に、ロボット工学、電磁波・光工学などを幅広く学ぶことで、先端的なものづくり分野で幅広く活躍できる高度ものづくり人材を養成。

・機能創成化学人材養成履修モデル

蓄電池、太陽電池、発光素子(EL)、CO₂還元触媒、医薬品など高度な機能を持った物質を、化学を基盤につくり出す力を持つ人材を養成。

②数理データサイエンス・IT・デジタル分野における標準履修モデル

・数理データサイエンス人材養成履修モデル

数学の基礎をしっかりと学ぶことで論理的思考を養い、その応用としてデータサイエンスの知識・技能を修得することで、高度なデータ解析能力を身につけたデータアナリストなどを養成。

・数理機械学習データサイエンティスト人材養成履修モデル

微分幾何、位相幾何、代数学などの現代数学を学ぶことにより、既存のデータサイエンス技術に捕らわれない機械学習等において新しい技術を生み出す素地を持ったアナリスト、人工知能開発者を養成。

・ITスペシャリスト人材養成履修モデル

コンピュータのソフトウェア及びハードウェア、情報理論、計算機科学、人工知能に関する知識を有し、それらを社会情報システムや知能システムに応用できる能力を有する人材を養成。

③自然環境・住環境分野の標準履修モデル

・グリーンシステム科学人材養成履修モデル

脱炭素（脱石油・石炭）、環境材料、水素発生などグリーンエネルギー、再生可能資源利用など環境に配慮した持続可能なプロセスを構築できる人材を養成。

・地球資源環境・防災科学人材養成履修モデル

地球の仕組みを知り、グローバルな環境変化の把握、自然災害への備えと復興、社会インフラ整備、天然資源の探査などの知識や技能を備え、将来、技術士として活躍できる人材を養成。

・環境保全科学人材養成履修モデル

資源環境や防災に対する理解があり、環境・資源の保全・活用を中心とした知識を持つ持続可能な開発技術を身につけたグリーン人材を養成。

・建築デザイン人材養成履修モデル

建築デザインに関係する科目をバランスよく学び、将来の建築士としての専門的知識を早期に高いレベルで養成。

・防災配慮型建築人材養成履修モデル

建築に加えて地盤・防災に関係する科目を学び、将来、主に構造設計に携わる建築士もしくは技術士としての専門的知識をもつ人材を養成。

④複数の分野にまたがる標準履修モデル

・AIロボティクス人材養成履修モデル

機械工学、制御工学、ロボット工学など機械・電気電子関係の知識に加え、AI関連分野を合わせて学ぶことにより、知的で高度なメカトロニクス分野で活躍できる人材を養成。

・環境データサイエンティスト人材養成履修モデル

グリーンケミストリーを理解し、画像解析やIoTなどに関する基礎知識を持った上でデータ解析を駆使して環境改善などに役立てることのできる人材を養成。

取得可能な資格として、設備環境の収容力などの限界から関連する実験実習に履修者数の制限はありますが、中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状（数学，理科），高等学校教諭一種免許状（情報，工業），学芸員，毒物劇物取扱責任者，危険物取扱者（甲種），修習技術者（技術士補 応用理学部門），一級建築士受験資格などの取得が可能です。

分野や標準履修モデル，卒業後の進路などの最新情報は，総合理工学部のホームページ（<https://www.riko.shimane-u.ac.jp>）に掲載している学部パンフレットを参照してください。

2 総合理工学部の卒業要件

科目区分		最低修得単位数	備 考	
全 学 基 礎 教 育 科 目	外 国 語	英 語	6	
		初 修	4	ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国・朝鮮語から選択
	SDGs 入門		2	
	健康・スポーツ/ 文化・芸術		2	健康スポーツ, 芸術文化 I のいずれかを選択
	情 報 科 学		2	
	数理データサイエンス		2	
	島大 STEAM 科目群 ユニバーサル科目群 地域創生科目群 教養育成科目群		8	
全学基礎教育選択科目		6		
小 計		32		
専 門 教 育 科 目		82		
自 由 科 目		10		
合 計		124		

備考

- 1 自由科目は、全学基礎教育科目及び専門教育科目の中から選択して履修します。

松江キャンパス案内図

(1) 位置図



(2) 交通案内

鉄道	JR新幹線	新大阪ー岡山 (約45分) 名古屋ー岡山 (約1時間40分) 東京ー岡山 (約3時間25分) 博多ー岡山 (約1時間45分) 博多ー新山口 (約35分)	JR在来線	岡山ー松江 (約2時間35分) 新山口ー松江 (約3時間50分)
	航空路線	名古屋ー出雲空港 (約1時間) 大阪ー出雲空港 (約1時間) 東京ー出雲空港 (約1時間20分) 福岡ー出雲空港 (約1時間5分) 東京ー米子空港 (約1時間20分)	空港連絡バス	出雲空港ーJR松江駅 (約30分) 米子空港ーJR松江駅 (約45分)
高速バス	広島 (広島) ー JR松江駅 (約3時間10分) 岡山 ー JR松江駅 (約3時間) 神戸 (三宮) ー JR松江駅 (約4時間30分) 大阪 (梅田) ー JR松江駅 (約4時間40分) 京都 ー JR松江駅 (約5時間) 福岡 ー JR松江駅 (約8時間) 名古屋 ー JR松江駅 (約9時間) 東京 (渋谷) ー JR松江駅 (約10時間25分)			

JR松江駅から島根大学松江キャンパスへの路線バス

- 市営バス：北循環線内回りへ乗車～「島根大学前」で下車 (所要時間約15分)
- 市営バス：島根大学・川津行きへ乗車～「島根大学前」で下車 (所要時間約20分)
- 一畑バス：美保関ターミナル行きへ乗車～「島根大学前」で下車 (所要時間約20分)

総合理工学部の内容、履修の手引きや授業科目一覧などはホームページで公開していますので、こちらも参考にしてください。URLは、次のとおりです。

総合理工学部 <https://www.riko.shimane-u.ac.jp/>

授業に関するお知らせ（履修の手引き、授業科目一覧など）
https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/notice/

入試情報
<https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

< 入学試験に関する問合せ先 >

島根大学松江地区学部等事務部学務課
(総合理工学部入試担当)

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

電 話 0852-32-6042

電子メール sad-nyushi03@office.shimane-u.ac.jp

URL <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>